

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(1/4)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	4.4	4.5 進捗度 ・生活支援ロボットの導入施設数 171% ・実証実験等の実施件数 139% ・生活支援ロボットを体験する取組に参加した人数 102% 等	4.1 規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化(薬事法)等 地域独自の取組 ・「セレクト神奈川NEXT」等による企業誘致の促進等	4.5	・自己評価は具体的な項目が多く、ある一定の成果は出ている。目標未達の評価項目に関しても、その具体的な問題点や解決手段が提示されており、来年度以降の成果が期待される。 ・本特区で実施している使用者モニターや報告書が製品開発に活用されており、生活関連ロボットで、消費者や現場のニーズに敏感に反応できることが強みになっている。 ・今後、他地域におけるロボット産業の集積地との競合は大きな課題であるため、例えば他のロボット特区と比べての強み、立ち位置を再確認し、他地域との棲み分けを行っていくことも検討するとよい。 ・生活・医療関連ロボットに特化した集積地としての強みを活かし、関連分野の教育・研究機関、ロボット経営コンサルタント、投資会社・ベンチャーキャピタル等の立地やネットワークの形成など、重層的な集積へ進展させることも課題。